

▼テラプチック静注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 ジモルホラミン dimorpholamine 【分類】 呼吸循環賦活剤

【単位】 ▼45mg/A [3mL]

【常用量】 1回 30～45mg [最大250mg/日]

【用法】 静注

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【特徴】 延髄の呼吸中枢及び血管運動中枢に直接作用し、呼吸興奮、血圧上昇作用を発現する。呼吸数の増加は軽度であるが、呼気の深度を増大して1回換気量を増加する。同時に交感神経系への興奮作用による血圧上昇と心筋収縮力の増強作用を示すため減弱した循環機能を賦活する。

【主な副作用・毒性】 血圧低下、胸内苦悶、痙攣、心房性期外収縮（これらの症状は静注の場合、急速に行くと現れやすいため緩徐に静注するか糖液、生食等に希釈して投与する）、咳嗽、めまい、耳鳴り、全身しびれ感、口内熱感など

【代謝】 主に代謝により消失 [ラット] (1)

【排泄】 主に代謝物として胆汁排泄 [ラット] (1) 尿中未変化体排泄率1.2% [ラット] (1)

【t1/2】 α 相 30min、 β 相 2.87hr (1)

【蛋白結合率】 データなし (1)

【Vd】 データなし (1)

【MW】 398.54

【透析性】 資料なし (1)

【TDMのポイント】 TDMの対象にはならない

【更新日】 20151201

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。